

2011年<平成23年>

8月27日 土

週刊 土曜日発行(無料)

# 刈谷ホームニュース



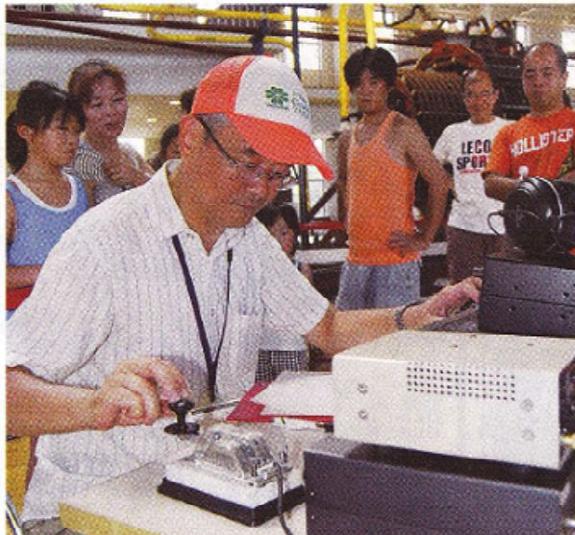
発行所 株式会社中日三河折込 刈谷ホームニュース編集室 〒446-0067 安城市三河安城東町1丁目20番地3

TEL 0566(27)1800㈹ FAX 0566(27)1777 E-mail:kariya@homeneews.co.jp

31,450部

## 欧洲の13カ国と交信成功

依佐美送信所記念館で公開実験



ヨーロッパと交信するためモールス信号を打電する柏田さん

ヨーロッパと交信するためモールス信号を打電する柏田さん

### アマ無線クラブがモールス信号で

昭和初期、日本で初めて長波によるヨーロッパとの無線通信を行い、当時の送信機器が保存展示されている高須町の依佐美送信所記念館で13日、デンソーエンジニアリングの柏田啓介さん(野田町)ら6人が公開実験を行い、短波によるヨーロッパとの無線交信に成功した。

柏田さんは同記念館ガイドボランティアの会のメンバー。刈谷市教委の許可を得て出力

50ワットの無線機器を運び込み、屋外に高さ8メートル

のアンテナを設置して

モールス信号による交

信を試みた。

13、14の両日、ドイ

ツアマチュア無線連盟

が交信局数を競うコン

テストを実施。多くの

アマ無線局との交信が

期待できるため、この

日を選んだ。

モールス信号で届く

相手局のコールサイン

を聞き取って、素早く

こちらのコールサイン

を送信。双方が交信を

確認した段階で次の相

手局を探すという方法

で約3時間、実験を行

った。

その結果、クロアチ

ア、ドイツ、イタリア、

スウェーデン、ハンガ

リー、ロシアなど13カ

国25局との交信に成

功。同記念館の見学に

訪れた家族連れがモー

する様子を興味深そうに見つめていた。

「期待以上に多くの

国との交信ができた。

昔はヨーロッパと交信

するのに高さ250㍍の鉄

塔が8基必要だった

が、今では小型の無線

機で同等の通信ができる

一方ではモールス

信号の仕組みは昔も今

もほとんど変わらな

い。こういったことも知

つてもらえた」と柏

田さんは話してい

た。